

広報用実績のまとめ

H23年度

団体名	サイエンスフィールド親子科学教室	代表者	福井 広和	記載者	福井 広和
所在地(市区町村名のみ)	岡山市北区				
活動目的	科学実験や自然体験を通し児童生徒の創造力や豊かな人間性を育む				
団体の紹介	<p>ちびっこサイエンスフィールドは元小学校長である石浦長氏が地元の要請を受けて岡山市沢田に建てた科学体験施設であり、たくさんの科学好きな子どもたちを育ててきました。子どもたちは放課後や休日に集まって虫を捕り、ラジオを分解し、様々な実験をして遊びました。子どもたちが自由に自然や科学にふれられる場所としてサイエンスフィールドは地域に親しまれていました。現在は活動場所を岡山市立旭公民館に移し、科学実験や自然体験を通して子どもたちの創造力豊かな人間性を育てるために活動しています。</p>				
助成を受けての活動内容	<p>本企画は、科学の分野別テーマにそったストーリーをもとに演示実験を交えながら対話を行い、講師と子どもたち、親と子のコミュニケーションを深め、科学に対する理解増進を図ることを主目的としました。単発で行うイベントとは異なり、同じ子供が連続して参加することで回を追うごとに科学に対する興味や理解が深まっていきました。</p> <p>■第1回「空気と真空の秘密を調べよう」(6月5日実施) 参加者:未就学児0人 小学生15人 保護者 14人 合計29人 活動内容:注射器を使った圧力体験、吸盤を使ったマゲデブルクの真空実験、他</p> <p>■第2回「ドライアイスであそぼう」(7月3日実施) 参加者:未就学児1人 小学生16人 保護者 14人 合計31人 活動内容:花の冷凍実験、シャボン玉の浮遊、二酸化炭素による消火実験、他</p> <p>■第3回「原子の世界を探検しよう」(9月4日実施) 参加者:未就学児1人 小学生15人 保護者 15人 合計31人 活動内容:酸素・窒素・二酸化炭素などの原子・分子づくりとその性質についての実験</p> <p>■第4回「磁石の性質を調べよう」(10月2日実施) 参加者:未就学児1人 小学生14人 保護者 14人 合計29人 活動内容:地球磁石、日本の産業の発展と強力磁石の開発、ガウス加速器製作、他</p> <p>■第5回「静電気を自由にあやつろう」(11月6日実施) 参加者:未就学児1人 小学生13人 保護者 13人 合計27人 活動内容:電気クラゲの浮遊実験、ライデン壺による百人脅しの実験、他</p> <p>[のべ参加者数:未就学児4人 小学生73人 保護者70人 合計147人]</p>				
助成を受けての成果	<p>今回の企画は親子での参加ということで、あえて少し高度な内容についても触れるようにしました。低学年の児童にとっては難しい内容だったかも知れませんが、保護者の方がその子の年齢にあった説明をつけ加えてくれたので多くの子どもたちが講座を楽しんでくれました。全5回の講座が進むにつれて、家族同士のふれあいが増え、挨拶の声が大きく活発になり、また自然発生的に会場の準備・片付けを手伝ってくれる親子が増えました。第5回目終了時には、「来年も続けて欲しい」というご要望も頂戴しました。</p>				
今後の活動への課題点	<p>講師自身にとって親子対象の講座は新しい内容・切り口・展開の仕方を考えるよい機会になりました。また、補助に入ってくれた教員仲間と毎回反省会をもち、改善点を話し合う中で指導のノウハウを共有することもできました。今後は近隣の大学の科学ボランティアサークル等と連携し、教職を目指す学生さんが実際に子どもたちと触れ合う実践の場を提供し、次代を担う地域リーダーを育てることができたらと考えています。</p>				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>サイエンスフィールド親子科学教室 代表者 福井 広和 連絡先メール: fwkc2570@mb.infoweb.ne.jp</p>				

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。